



コミュニティソーシャルワーカー

通信

特集号



サロン活動者様に向けた「地域のオンライン交流会」を開催しました。

今年度、新型コロナウイルスの影響を受け、これまで地域においてつながりづくりを進めてきた地域のサロンや集いの場の活動が、縮小や休止せざるを得ない状況になりました。

「他の団体は、どんな取組みをしているの?」「他の団体の取組みを聞いてみたい!」そんなお声にお応えすべく、3月10日(水)にサロン活動者様向けのオンライン交流会を開催いたしました。



<交流会の様子>

交流会には、区内でサロン活動を行っている4団体の方にご参加いただき、各サロンの近況報告の他、活動のために工夫していることや知りたいことについて意見交換しました。どんなことが話し合われたか、一部ご紹介します!

○参加団体

圏域	名称	対象	内容
菊かおる園	いきいきクラブ in 豊島	高齢者	介護予防
東部	新大塚みんなの広場	子ども	遊び・学習
ふくろうの杜	サロンさんぽ道	誰でも	サロン
医師会	サロン寿	高齢者	サロン



○話し合われたこと (一部抜粋)

<コロナ禍での工夫や取組み>

- ・サロン有志で、手作りマスクを作り、地域の小学校の子どもたちや社協にも寄付した。
- ・おりがみはマスクしたままでもできるので取り組んでいる。まずは新聞で作れるゴミ箱からはじめ、サンタクロースやお雛様など季節にちなんだものを作っている。
- ・最初と最後にアルコール消毒をするなどの対策をしてサロンを再開している。
- ・通常の『吹き矢』を『ポッチャ』に『食事会』を『体操』に変更して取り組んでいる。
- ・関係者と再開に向けて話し合いを行い、お菓子は持ち帰る形にする等して実施している。

<参加された方の感想、意見>

- 参考になることが多かった。豊島区で活動されている他のグループの方々とも次回以降での意見交換ができればいい。
- 他の方との接点は全くなかったなので、とても興味深かった。こんなにも活発にやっているのかと少し驚いた。
- 活動の内容、悩み等が理解できて、活動範囲の差はあるが、お互いに見習い、切磋琢磨すべきと改めて感じた。
- 全く知らない方とZOOM会議をするのは初めてなので、なかなか興味深かった。皆さん高齢者で、サロンの中身も違うので、他の方たちがどう思われたかが気になる。
- それぞれ違う内容のサロンをやっているの、何を軸に運営しているのか伺ってみたい。



<前に進んでいこう！～交流会に参加したCSWより～>

「オンラインは、高齢者にとってハードルが高いと感じた」とのご意見もありましたが、コロナに対する様々な意見がある中、前に進むことを考えた皆さんのお話を聴くことができました。これまで、地域においてつながりづくりを進めてきた活動を継続するうえでも、貴重な情報交換の機会になりました。

「今回のオンラインサロンでつながった活動を実際に見に行きたい!」「今後、自分と同じ高齢者のサロン同士でオンライン交流会を開催してほしい」など、今後に向けた企画のご意見も挙がっていました。今後、皆さまと一緒に次の交流会を企画していければと思っています。



CSW（コミュニティソーシャルワーカー）は、誰もがくらしやすいまち（地域共生社会）の実現を目指して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域住民や関係機関・団体等とともに、地域づくりに取り組んでいます。

学びあい・支えあいの視点で一緒に地域活動を創出したり、住民がすすめる地域活動もサポートしています。今後も地域の皆さまのお声を伺いながら、地域づくりの推進に取り組んでいきたいと考えています。

地域活動に関するご質問やご意見等ございましたら、まずは、下記までお気軽にお問合せください。



【問い合わせ先】

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

コミュニティソーシャルワーク担当

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

☎ 03-3981-4392

FAX 03-5950-1239

✉ csw_toshima@a.toshima.ne.jp



豊島区民社会福祉協議会
ふくみん ふくじい